

消費者あつての酪農!!

六月は牛乳月間 知事・教育長に牛乳消費の普及を呼びかけ!!

広酪(岩竹重城代表理事組合長は、広島県牛乳普及協会(岩竹重城会長)と連携し、六月九日『広島県版』牛乳の日として湯崎県知事・下崎教育長を表敬訪問し、牛乳の消費普及拡大をPRした。

特に、今回の訪問では強力なスタッフとして、酪農女性達で構成する「ときめき隊」の選抜メンバーが初参加し、知事、教育長に『酪農家あたりまえ体操』を披露した。

表紙写真

2014.6.15撮影

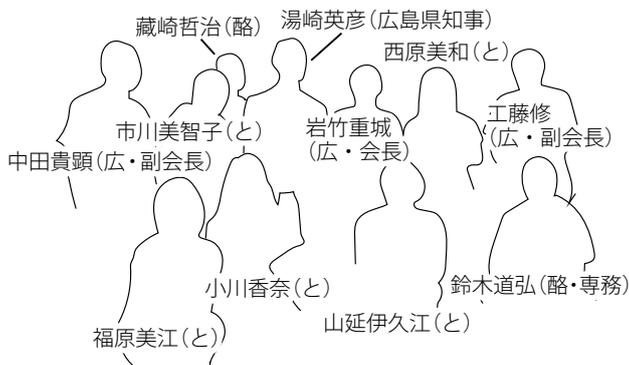
- ▼表紙写真は、菖蒲(しょうぶ)の花に焦点をあてて撮影しました。
- ▼5月下旬から開花し、6月上旬から中旬に見頃を迎えます。
- ▼見つめれば、見つめるほど、優しくしなやかな花びらには魅了されます。
- ▼花の色は、白、桃、紫、青、黄など多数あり、絞りや覆輪などとの組み合わせを含めると5,000種類あるといわれますから、これも驚きです。
- ▼菖蒲の花言葉には、「良き便り」「うれしい便り」「吉報」「愛」「あなたを大切にします」「私は燃えている」などがあるそうです。
- ▼花言葉に由来する多くの出来事がありますように・・・。



contents

- ② 特集 消費者あつての酪農!!
- ⑥ トピックス
- ⑧ 会議だより
- ⑫ 地域コミュニティ
- ⑭ ちよつと気になる税務のはなし
- ⑮ ミルクパーラー
- ⑳ 酪農テレックス

★3ページ写真(敬称略)



(略称) (広)広島県牛乳普及協会
(酪)広島県酪農協同組合
(と)広島県酪農協同組合ときめき隊

牛乳は新鮮なのが一番!!



■湯崎知事・下崎教育長を訪問 「新鮮・美味しい県産牛乳を はいーごうぞい」

湯崎知事は、記者からの「広島県産牛乳はどの点が良いと思いますか?」との質問に、「広島県産牛乳は牧場から工場までの輸送距離が短い。やはり牛乳は新鮮なのが一番」と地産地消の重要性を強調し県産牛乳の良さを発信頂いた。

下崎教育長には、県内中学校の学校給食牛乳について、生徒の体位・体育の向上と健康維持のため、定着率の低い地域への定着率向上をお願いし、「現状を理解したので、定着率向上に向けて検討したい」との見解を受けた。

酪農・乳業団体は六月を牛乳月間と位置付け、消費拡大キャンペーンを展開している。今回のPR活動は、このキャンペーンに併せて実施した。

「ときめき隊」の選抜メンバー(小川香奈さんへ池田牧場・府中市、市川美智子さんへ庄原市、山延伊久江さんへ東広島市、西原美和さんへ北広島町、福原美江さんへ北広島町)は、湯崎知事に県産牛乳一リットルパックを贈呈し、ときめき隊の活動紹介に加えて、『酪農家あたりまえ体操(知事表敬訪問バージョン)』を披露。

湯崎知事はコップに注がれた牛乳を手に、「♪足はく肩幅、手はく腰に、飲む♪」の音頭に併せて牛乳を飲み干された。

早速、六月十三日に教育委員会より連絡が入り、来る八月一日、竹原市にて開催される「広島県学校給食研究大会」において、学校教諭に対して、牧場体験学習を通じた食育活動をテーマにした講演要請がありました。

「牛乳の日・牛乳月間」

世界的にはFAO(国際連合食糧農業機関)が二〇〇一年より、六月一日をWorld Milk Day(世界牛乳の日)とすることを提唱しています。

これにちなんで、社団法人日本酪農乳業協会(現：一般社団法人Jミルク)が二〇〇八年

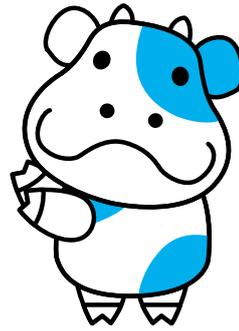
より、日本でも六月一日を「牛乳の日」としました。

二〇一三年には、日本記念日協会に正式に認定されました。

また、毎年六月の「食育月間」と連動して六月一日「牛乳の日」から始まる六月の一ヶ月間を「牛乳月間」としています。

「酪農家あたりまえ体操♪」(知事表敬訪問 ver.)

右手に子ども 左に子牛 育てる 肉体労働
 県民のために 頑張る知事さん どうぞ あたりまえ牛乳
 足は肩幅 手は腰に 飲む 風呂上がり最高♪



小川香奈さんは、「牛乳は熱中症予防にも効果的で、寝る前に飲むと安眠効果も期待出来るので、ぜひ県民の皆さんにたくさん飲んで欲しい」と訴えられた。

■下崎教育長に要請

○県内公立中学校に学校給食牛乳の定着率向上をお願い

―瀬戸内側都市部の

牛乳飲用定着率は五十三%と低位―

県普及協会(学乳部会)は、左記の表を示し「平成二十四年度の県内公立中学校の学校給食における牛乳の飲用状況」に触れ、県内全体の学校給食にお

ける牛乳飲用定着率は七十三%であるとの現況を伝えた。

特に、人口が多い瀬戸内側都市部の

牛乳飲用定着率は五十三%と低位に止まっており、約半数が未飲用の実態に

あることから、成長過程にある生徒・児童の体位・体育の向上に加え、栄養面や健康面からも学校給食に牛乳は欠かせない食材であると改めて説明し、

■酪農教育ファーム等を通じた食育活動

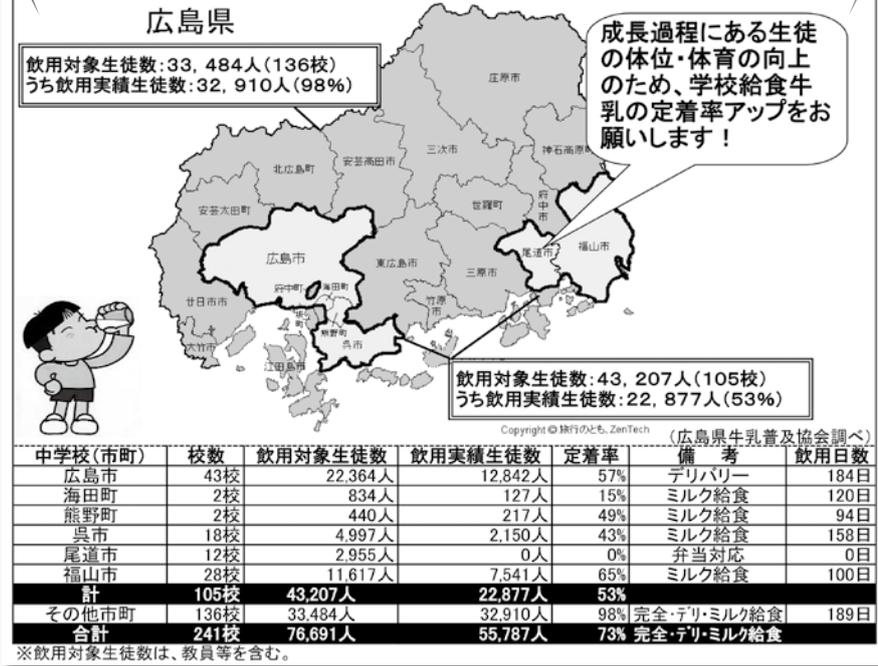
「ときめき隊」の小川香奈さんは、自

身の牧場を含む県内五牧場が取り組んでいる酪農教育ファームや、山延伊久

江さんが取り組まれる牧場体験学習など、地域の学校と連携した食育活動を紹介し、これらの更なる活用を求めた。

■まとめ

今回の表敬訪問は、「牛乳普及拡大」をテーマに、若い酪農女性の目線から熱中症予防や安眠効果など、「牛乳の機能性」についてPRした。



湯崎知事は毎日、朝と寝る前には必ず牛乳を飲んでおられ、鳥取県での学校給食の入札問題に触れ、「牛乳はなんといいっても新鮮なのが一番。輸送距離が短く、新鮮でおいしい県産牛乳がベスト」とコメントされた。

当日はマスコミ各社からの取材を受け、テレビや翌日の朝刊等で広く報道がされたこと



で、知事のコメントや「牛乳の機能性」について多くの方の目に触れ、今後の普及拡大に繋がるものと期待したい。

Jミルクは、新潟県三条市の学校給食牛乳休止問題を受けて、給食を利用する子どもの保護者への意識調査を実施したが、牛乳供給廃止に七割が反対していることが明らかになった。

給食に求めることについては、九割が「栄養(バランス)」と回答。「家庭でまかないきれない栄養を給食で補ってほしい」という思いが強くあり、保護者の多くが学乳は必要と考えている実態が浮き彫りになった。

最後に、今回の訪問を通して県内の酪農家の皆様とともにあらゆる機会を通じて牛乳の良さをPRし、飲用牛乳や乳製品の普及啓発にあたって行きたいとの思いを強くした。

日々徒然

かがやき



▼六月四日、広島地方気象台は「中国地方が梅雨入りしたとみられる」と発表しました。平年よりも三日早く、昨年よりも八日遅いとのことでしたが、最近「梅雨入り」「梅雨明け」の判断が難しく、断言は避けられているようです。

▼しかし、五月下旬から六月上旬までは真夏日を思わせる気温で、うだるような暑さが続き、今年も猛暑、異常気象かとも考えられています。

▼五月の牧草刈取り時期には「今年には牧草の生えが悪い」と聞く一方、稲作農家では「畦草を刈らなくてもええわ」との声も聞きました。この影響によって、酪農家の皆さんへの自給飼料確保の点での購入乾草によるコスト高を心配します。

▼Jミルクでは毎年六月一日を「牛乳の日」、六月を「牛乳月間」として、全国各地で、消費拡大イベントが展開され、広島も広島県牛乳普及協会との連携によりその活動を行っています。

▼「牛乳の日」を定めた背景には、酪農の盛んな地域で新しい草が伸びるこの頃から放牧を始め、冬を牛舎で過ごした牛たちが野に放たれ躍り上がって喜び、思う存分、青草を食べる生命力あふれる光景を見て、これらがも

たらす命や自然、働く人々に感謝するお祭りやお祝いがある世界各地で行われることから、平成十三年に国連食糧農業機関(FAO)が六月一日を「世界牛乳の日」として提唱しました。日本では日本酪農乳業協会(現Jミルク)が平成十九年に六月一日を「牛乳の日」、六月を「牛乳月間」と決めました。

▼広島や牛乳普及協会では六月九日(月)に広島県知事や広島県教育委員会教育長を訪問し、県内産生乳を使った牛乳や乳製品のPRに加え、酪農業への関心を深める活動を行い、テレビニュース等で消費者の目に触れ、興味をもって頂く取り組みを行いました。

▼これには酪農女性の会「ときめき隊」からも酪農家版「あたりまえ体操」の披露など酪農家の若さと元気をアピールする積極的な支援を頂きました。

▼これから夏祭りのイベントも多く開催され、各地域では牛乳・乳製品の普及活動も積極的に行われるものと思います。牛乳の価値と栄養価、効能等を通じてみんな酪農発信、普及活動を展開してみませんか。

(T.Y)

美湯 仙人